

【日本総研 事業開発コンサルティンググループ グローバル研究開発セミナー】
「技術融合」による、次世代の事業の柱となる研究開発テーマの創造
開催趣旨

日本の大手メーカーが持続的な成長を実現するためには、成長を続ける新興国を中心とするグローバルな事業戦略を描くことが求められています。

そうしたなか、コーポレート研究開発部門はグローバルな事業戦略への貢献のあり方を問われつつあるようです。

8月のセミナーでは、次世代の事業の柱となる研究開発テーマを創造するための手法として、5年後、10年後の社会・産業の絵姿を自社のコア技術と結びつけるまでの進め方を紹介しました。

今回のセミナーでは、日本総研が日本の大手メーカーがグローバルに戦うために重要と考える「技術融合」に焦点をあてて、競争力のある研究開発テーマを創造する手法を提案したいと考えます。

日 時	2010年10月22日（金）13:30～16:30
会 場	(株)日本総合研究所 101 会議室
対 象	大手メーカーの経営層、新規事業開発部門の責任者、研究開発部門の責任者
定 員	先着80名迄
受講料	お一人様3,150円（消費税込）

プログラム

事前の通知なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください

13:30-14:00 次世代の事業の柱を創造する研究開発テーマと技術融合の位置づけ

株式会社日本総合研究所 社会・産業デザイン事業部 機械・電機・化学イノベーショングループ
 ディレクタ 時吉康範

競争力を内包した研究開発テーマの創造の観点から、「技術融合」の重要性とテーマ創造プロセスにおける位置づけを解説する。

14:00-14:40 高い競争力と「技術融合」の相関

コンサルタント 桑畑卓弥

競争力の高い製品と技術融合の相関関係を事例に基づいて明らかにした上で、今後、日本の大手メーカーが「技術融合」を行う際の視点を示す。

14:40-14:50
休憩
14:50-15:50 複数大学間連携による「社外技術融合」事例とその活用

学校法人東京理科大学科学技術交流センター長 藤本隆

複数大学の知的財産を融合させ、技術開発のグランドデザインを図り、企業との連携を進めた取り組み事例を紹介し、今後、研究機関や企業が技術融合から事業を創造するための要点を解説する。

15:50-16:30 「社内技術融合」の進め方

コンサルタント 吉田浩之

組織の壁を越えた「社内の技術融合」を図るための課題を明らかにした上で、進め方のキーポイントを解説する。

16:35～
個別相談会

弊社コンサルタントが御社のご相談に個別に応じます。ご希望される方は、お申し込み用紙にチェックを入れていただくか、あるいは、休憩時に係までお知らせください。個別相談会は先着順とさせていただきますので、ご予約の状況に応じて長時間お待ち頂くことがありますのでご了承ください

申込要領

- ①弊社ホームページの所定フォームからお申しいただくか、受講申込書をFAXにてお送りください。後日、受講者様宛に受講票および請求書を郵送致します。尚、1週間経過しても請求書がお手元に届かない場合は、下記申込照会担当までご連絡下さいませよう宜しくお願い致します。
- ②受講料金は必ずセミナー開催当日までにお振込みいただきますようお願い申し上げます（振込手数料は貴社負担にてお願い致します）。当日現金によるお支払いはお受けできません。原則として、領収書の発行は致しかねますのでご了承ください。
- ③お申込後の取消し・受講料の払い戻しはお受けできません。お申込者のご都合がつかない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。
- ④セミナー当日は受講証をご持参のうえ、受付にてご提示下さい。
- ⑤セミナー会場においては、ビデオ・カセット・ICレコーダー・MD等による撮影や録音は固くお断りします。

受講料(含資料代・消費税)	申込照会先	受講料お振込先
一名様につき 3,150円 (本体価格3,000円)	(株)日本総合研究所 総合研究部門 TEL 03-3288-4267 内容照会：桑畑卓弥 申込照会：井上みどり	三井住友銀行 青山支店 普通預金 No.557391 株式会社 日本総合研究所 カナダソウゴウ ケンキョウ